



特定非営利活動法人 女性技術士の会

ニュースレターvol.8

本ニュースレターは、特定非営利活動法人女性技術士の会会員のみなさまへ、本会の活動内容を中心にお知らせいたします。

第8号では、2011年4月～7月の活動内容、会員からの発信、リレーエッセイ、部会報告、今後の活動予定などをお届けします。

CONTENT		
活動内容		2 ページ
2011/04/07	徳山工業高等専門学校専攻科 女性技術者講師による研修	2 ページ
2011/05/20	山梨大学「理系女性のキャリア形成」講義	2 ページ
2011/05/21	第4回通常総会・意見交換会	3 ページ
2011/06/25	第10回技術サロン（WPETF 活動への協力）	3 ページ
2011/07/19	ICWES15 速報	4 ページ
日本技術士の動向		4 ページ
	日本技術士会が公益社団法人へ	4 ページ
	公益社団法人日本技術士会男女共同参画推進委員会が設置されました	5 ページ
会員からの発信		5 ページ
	平永佐知子さん 家事	5 ページ
会員の受賞		6 ページ
	廣瀬由紀さん 公益社団法人日本技術士会 会長表彰受賞	6 ページ
会員の記事掲載		6 ページ
	角田ふで子さん 「いまこそ理系」（朝日新聞朝刊）	6 ページ
	木村了さん他 「技術分野の女性ネットワーク」（建設経済新聞）	6 ページ
運営報告		7 ページ
今後の活動予定		7 ページ
	2011/09/17 第11回技術サロン（WPETF 活動への協力）	7 ページ
	2011/10/01 おもしろいまちづくりシンポジウム第4弾	7 ページ
	2011/10/13～15 第5回日韓女性技術士交流会	7 ページ
	2011/11/19～20 サイエンスアゴラ 2011	7 ページ
技術士をめざして		8 ページ
	佐野愛美さん きっかけは技術サロン	8 ページ

活動内容 (2011/4~2011/7)

徳山工業高等専門学校専攻科 女性技術者講師による研修

- ◆ 日 時：2011年4月7日(水) 午後
- ◆ 場 所：徳山工業高等専門学校専攻科
- ◆ 活動形態：要請参加
- ◆ 主 催：日本技術士会
- ◆ 参加者：田村、千木良
- ◆ 内 容：

セミナー：1.5時間 約70人参加(男子学生、教授陣も含む)

茶話会：1.5時間 約25人参加(女子学生のみ)

セミナーでは、高専専攻科カリキュラムの始業式オリエンテーションとして、社会で働く女性技術者のお話をしました。

- (1) 「女性技術者による技術士制度」の概要説明
- (2) ビデオレターによって若い女性技術者の実際の姿を紹介
- (3) キャリアデザインやライフワークマネジメントに関する体験談

多くの男子学生が「イクメン」という言葉を知っていたり、セミナーの内容に対して積極的に質問してくれたり、意識が高いことを実感しました。

茶話会では、大勢のおしゃれな女子学生と、お茶とお菓子をいただきながら和気あいあい、おしゃべりをしました。将来の目標がはっきり決まっている人、就職に悩んでいる人、未知の途中で足踏みしている人、それぞれでしたが、純粹で学生らしい真摯な心に接することができ、私たちもひととき爽やかな気持ちになれました。

後日談として、ご担当の教授から「参加した女子学生たちに話を聞きましたが、現役の女性技術者と話ができて良い刺激になったと言っていました」とお知らせいただき、うれしく感じています。

※参考：徳山高専専攻科 WEB サイト <http://www2.tokuyama.ac.jp/japanese/ac/>
当イベントがトピックとして紹介されています。



山梨大学「理系女性のキャリア形成」講義

- ◆ 日 時：2011年05月20日(金)
13:00~14:30
- ◆ 場 所：山梨大学工学部
- ◆ 活動形態：要請参加
- ◆ 主 催：山梨大学
- ◆ 参加者：プロジェクト側 廣瀬
ゲスト 岡村美好先生



一般参加者 学生 12 名（男女）

- ◆ 経 緯：「理系女性のキャリア形成」講座の一環として技術士を紹介する。
- ◆ 目 的：企業内で働く技術者の実情を理解してもらう。JABEE 課程の学生には、技術士資格取得の方法・メリット等を理解してもらう。
- ◆ 概 要：
以下について講義を行いました。
 - ・技術士とはどんな資格か（技術者の定義・プロフェッションの定義）
 - ・私の経験（技術者の役割・やりがいとは何か）
 - ・学生へのアドバイス（東北地方太平洋沖地震後に技術者ができる事は何かについての自分の考えを伝える）

■ 第4回通常総会・意見交換会

- ◆ 日 時：2011 年 5 月 21 日（土）
 - 14：10～15：05（第1部）
 - 15：20～16：30（第2部）
- ◆ 場 所：大田区産業プラザPio6階C会議室
- ◆ 概 要：



第1部の第4回通常総会は、正会員 75 名のうち出席者 15 名、委任状提出者 33 名、出席議決数 48 名であり、総会成立条件である正会員の 1/2（38 名）以上に達しましたので成立しました。

以下の議案が原案通り承認されました。

- ・第1号議案 平成 22 年度事業報告及び収支決算に関する件
- ・第2号議案 平成 23 年度事業計画及び収支予算に関する件
- ・第3号議案 NPOとして東日本大震災への支援の件
- ・監査報告

第2部では、法人としての活動が5期目を迎えることから今後の活動についての意見交換会を行い、第3号議案の「東日本大震災への支援」が主な話題となりました。震災後現地へ入った会員、原子力関連企業に勤務する会員、環境調査に係わっている会員、北海道からの会員はじめ総会出席のすべての会員から活発な意見が出されました。支援に関しては、将来の技術者育成を目的とした 10 年先、20 年先を見据えた活動を考えることとなりました。

懇親会は、総会会場近くの中華料理店にて 15 名が出席し、歓談しました。

■ 第10回技術サロン（WPETF 活動への協力）

- ◆ 日 時：2011 年 6 月 25 日
- ◆ 場 所：ダイナミック・アート館（館長の金澤磐夫氏（技術士 機械部門）のご厚意により借用）
- ◆ 活動形態：共催
- ◆ 主 催：（社）日本技術士会登録グループ WPETF

- ◆ 参加者：プロジェクト側 岩熊、石田、笹尾、廣瀬、青木
一般参加者 女子学生 11 名、社会人 3 名

- ◆ 経 緯：WPETF の主な活動目的の一つである女性技術者のキャリア形成支援事業の一環として、JABEE 課程と技術士制度の説明及び先輩女性技術士との懇談を企画したもの。20 年 11 月に初回を実施し、同企画で第 10 回目。



- ◆ 目 的：JABEE 課程履修及び技術者を目指す女子学生が、卒業後の技術者としての自分の姿を思い描き、学校での勉学をもとに、充実したキャリアを積んでいくために、現役の女性技術士と意見交換をする場を提供すること。なお、NPO 法人賛助会員の支援により、NPO の災害支援事業の一環として、福島県的女子学生 2 名を招待しました。

- ◆ 概 要：

1. 『技術士』資格に関する説明(笹尾)

技術士とは何か、JABEE 課程と技術士制度との関係等に関して、基本的な事項をわかりやすく説明しました。また、女性技術士の状況（登録人数、近年の合格者数）をデータで示しました。

2. フリーディスカッション

アイスブレイク手法等を用いて、主催者・参加者ともに打ち解けたあと、参加者各自の悩み、資料として準備したリーフレット等を題材に、技術者としての今までの経験や、学生として今後キャリアを積んでいく上で疑問に思っていること等について意見交換を行いました。

ICWES15（速報）

- ◆ 日 時：2011 年 7 月 19 日（火）～22 日（金）
- ◆ 場 所：オーストラリア アデレード コンベンションセンター
- ◆ 対 象：女性技術者・科学者
- ◆ 概 要：ICWES15（第 15 回国際女性技術者・科学者会議）が終了しました。当会からは、8 名が参加しました。

今回は日本の女性技術士を紹介する「ポスター」と、企業で働く女性の実態を国際レベルで話しあう「ワークショップ」を行いました。次回の報告をお楽しみに。

日本技術士会の動向

日本技術士会が公益社団法人へ

公益社団法人は公益目的事業を行う社団法人で行政庁の認定（公益認定）を受けた社団

法人です。創立 60 周年を迎えた日本技術士会は、2011 年 4 月 11 日に公益社団法人となりました。技術士と技術者の社会的地位の向上と広く社会への貢献を目的として、技術士の継続研鑽、官公庁・地方自治体・海外業務関係機関等への技術士の活用促進、技術士法に基づく文部科学大臣の指定試験機関及び指定登録機関として国に代わって技術士試験の実施及び技術士・技術士補の登録等の業務により公益性のある団体として認められたものです。

■ 公益社団法人日本技術士会男女共同参画推進委員会が設置されました

男女共同参画推進の社会的背景・要請を受けて、次の事項を目的に活動するため、平成 23 年 1 月に設立が認められました。

- (1) 女性技術士の増加を図るための積極的な広報活動の展開
- (2) 女性技術者のキャリアパスにおける技術士資格の優位性の明確化による技術士の知名度向上と共に企業における男女共同参画推進への協力
- (3) 新成長戦略における科学技術による豊かな社会の形成、及び男女共同参画社会形成推進に向けた支援活動の展開

委員会では女子学生や企業技術者へ向けたキャリア形成支援を行い、NPO 法人女性技術士の会は今までどおり各種行事などへの協力を行なっています。

会員からの発信

■ 平永佐知子さん（建設部門） 「家事」

皆様は日々、家事をどのようにこなされていますか？ きっと仕事と同様、テキパキと手際よくこなされているのでしょうか。私は、家事を主体的にやり始めてから 15 年以上経ちますが、恥ずかしながら改善の余地がまだまだ多く、試行錯誤も続いています。なかでも、炊事、洗濯、掃除とあるうち、掃除が最も苦痛です。炊事は「美味しい！」と褒めてくれる家族の言葉に支えられて何とかなる、洗濯は掃除ほどの



平永佐知子さん

の労力をかけずとも達成感を得やすい、一方で掃除は、我が家の場合は掃除の前段の「片付け」も相当必要で、「綺麗になった～」という満足感を得るまでに多くの労力と時間を要することが原因の一つかも知れません。現実には、「平日は時間ないもん！」を言い訳に土日に集中して掃除に取り組もうとすると、例えばリビングの土曜朝の状態は、本、雑誌、マンガが散乱、未決箱（*1）は山積み、テレビ、ピアノ、リビングボード、本棚には埃がたまる等々、もうウンザリです。

この状況を打破しようと、過去には「〇〇片付け術」「収納のコツ」といった類の本を読みました。どれも私にとって決め手にはなりません。それが、1 年程前に「‘キッパリ！たった 5 分間で自分を変える方法’ 上大岡トメ著」という本を読んで、掃除に対するモチベーションがかなり改善されたので、ここでご紹介します。一言で申しますと、片付け&掃除自体を効率的に行う工夫に加え、「どうせやるなら楽しくやろう！」という気持ちの面の工夫をしましょう、という内容です。特に参考になったのは、この本の「気持ちから変えてみる！」という章にあった「道具にこだわる」と「ブルーな時は歌を口ずさむ」です。

まず「道具にこだわる」ですが、使いやすい道具を揃えようといくつか試した結果、〇

スキンのハイモップ(*2)(レンタル料約 800 円/月)を契約することにしました。これはかなりの優れもので、高いところ、狭いところの埃を綺麗に取ってくれます。レンタルの最終日が近づくと、サッシのレール部分にたまった砂埃を取ったり網戸を拭いたり、目一杯モップを使い切って交換してもらおうようにして、「800 円分使い切った！」という自己満足に浸れるよう心掛けています。清水の舞台から飛び降りる気持ちで○イソンの掃除機(*2)も購入しました。高価な道具を揃えたからには後戻り出来ない、というプレッシャーを自分にかけてました。

次に「歌を口ずさむ」ですが、掃除中はお気に入りの曲を聞きながら自分も歌うことにしました。これも試行錯誤のうちに、スローなバラードよりもアップテンポの曲の方が気持ちの上向きになるという経験則が得られたため、出来るだけ乗りの良い曲を選ぶことにしました。今のお気に入りの曲は EXILE BEST で、何回も聞いているので全曲ほぼ歌えます。○イソンの掃除機は評判通り？音が大きいのですが、音痴な割には大声量の私の歌声を見事に消してくれるので、とても助かっています。

このように、掃除中に気持ちが明るくなるよう心掛けた結果、子供に「片付けなさい！」と怒っていたのが「片付けようね～」に変わったことで、家族の片付け中の顔も明るくなった気がします。素敵な本に出会えたお陰で、約 2 時間の片付け&掃除タイムのウンザリ度合いがほぼ半減したような感覚です。何事も勉強は大切ですね。

ここまで書いて偶然ですが、前回このコーナーを担当された佐藤厚子さんと同じ結論「勉強は大切ですね！」を導くことが出来ました。大先輩に少しだけ近づけたような気がして、これも嬉しいです。

*1：私宛に来る郵便物や学校からの連絡等を入れておく箱。

*2：○にはカタカナで同じ文字が入ります。

会員の受賞

■ 廣瀬由紀さん 公益社団法人日本技術士会 平成 23 年度会長表彰受賞

会員の廣瀬さんが 2011 年 6 月 23 日の日本技術士会定時総会にて会長表彰を受賞されました。日本技術士会が公益法人に移行して初めての受賞です。

おめでとうございます！

会員の記事掲載

■ 角田ふで子さん 「いまこそ理系」(朝日新聞朝刊 2011 年 6 月 8 日)

会員の角田さんが朝日新聞のリレーオピニオン「いまこそ理系」に技術士として記事掲載されました。

角田さんは、昨今の環境関連や震災関連の状況について、科学を説明できる表現力として、いまこそ理系の力が必要であり、さらには、数値ではあらわせない人間の感情をくみ取る文系の力が必要だとしています。詳細は、当会 HP をご覧ください。

■ 木村了さん他 「技術分野の女性ネットワーク」(建設経済新聞 2011 年 4・5・6・7 月)

建設関係専門の新聞である建設経済新聞のコラム欄にて、「NPO 法人女性技術士の会」の紹介記事の連載が始まりました。

内容は各界で活躍する当会の女性技術士の活躍を紹介するものですが、仕事だけではなく女性技術士の生活や趣味、夢なども語られています。連載は毎月1回で、4月号は農業部門の木村了さん、5月は情報工学部門の廣瀬由紀さん、6月は建設部門の磯打千雅子さん、7月は建設部門・水産部門の古屋温美さんが担当しました。これから先もなるべく多くの会員を紹介したいので、皆様奮ってご応募ください。

※ 応募先：総務・事務局 soumu-pelady@freeml.com

運営報告

主体	日時	場所	議題
企画部会	2011/06/07	銀座ルノアール会議室	ICWES ポスター作成及びDVD
企画部会	2011/07/25	淡窓庵事務所	おもまちシンポ第4弾の内容
技術サロンプロジェクト 広報部会	2011/07/12	日本技術士会会議室	技術サロン企画、ニュースレターvol.8、サイエンスアゴラ

今後の活動予定

第11回技術サロン（WPETF 活動への協力）

- ◆ 日 時：2011年9月17日（土）10：00～12：00
- ◆ 場 所：日本技術士会荻手第二ビル5階 A 会議室
- ◆ 対 象：JABEE 認定課程履修及び技術者をを目指す女子学生
- ◆ 内 容：「技術士」資格に関する説明、意見交換会
- ◆ 参加費：無料
- ◆ 定 員：20名
- ◆ 申込先：廣瀬由紀 wpetf@pej-lady.org

おもしろいまちづくりシンポジウム第4弾

- ◆ 日 時：2011年10月1日（土）
- ◆ 場 所：コトブキDIセンター7階 レセプションルーム
- ◆ 内 容：開催テーマは「リスク回避の生活術を考えよう！」です。

東日本大震災により私たちは多くのリスクがあることを感じました。そこで、生活者の目で、衣食住、情報、家族構成の違い等からのリスクを掘り起こし、技術者の目でリスク回避の手段を考えたいと思います。そして、今、不安を持っておられる多くの方と私たちが考えたことについて意見交換し、リスク回避の生活術を充実させるシンポジウムを实行したいと考えています。シンポジウム開催まで掘り起こしの場を設けたいと考えますので、ご参加ください。

第5回日韓女性技術士交流会

- ◆ 日 時：10月13日（木）15:00～
- ◆ 場 所：大邱広域市 Hotel Inter-Burgo EXCO

※ 8.27～9.4 の9日間 世界陸上が開催される大邱での開催です。

- ◆ テーマ：自然および人工災害対策と技術士の役割
- ◆ 日本側発表（予定）：磯打「巨大災害に対する技術者の役割」（仮）

参考）第41回日韓技術士会議：
10月14日（金）合同シンポジウムおよび分科会
10月15日（土）テクニカルツアー
※本会議の申し込み締切り8月末

サイエンスアゴラ 2011

今年も独立行政法人科学技術振興機構(JST)主催のサイエンスアゴラに出展します(2011年11月19日(土)~20日(日) <http://www.scienceagora.org/>)。会としての出展テーマは「理系の仕事ー復興の現場でもー」です。みなさまの参加をお待ちしています。

技術士をめざして

佐野愛美さん 「きっかけは技術サロン」(技術士補：応用理学部門)

皆様はじめまして、佐野愛美と申します。このたび寄稿の機会を頂きましたので私の自己紹介と、私の技術士ライフのスタートとなった技術サロンについて書かせて頂きます。

□メーカーの生産をサポートするエンジニア

昨年自動車内外装のプラスチック製品メーカーに勤務しています。初めての配属先は生産技術課。生産全体の流れを通して「人・物・金」のマネジメントを行っています。

具体的には、生産工程で作業者がどのように生産を行うか、そのためにどんな設備や道具が必要か、そしていかに安く早く良い製品を作るかを企画から量産までのすべての場面で検討します。



自動車部品がメイン商品ですが
住設、生活用品も開発しています。

既存の技術はもちろん日々進歩していく新しい技術を取り入れ、より安く・早く製品を生産できるよう日々研鑽を積んでいます。どの業務でも新しい挑戦(と失敗)の機会があるこの仕事を続け、4年後には社内初の女性技術士になれるよう成長できたらと思います。

□きっかけは技術サロン



佐野愛美さん

さて、私の技術士の始まりは、WPETF主催の技術サロンでした。大学の所属学科はJABEE課程でしたが技術士については実感がなく特に意識せず過ごしてしまい、就職が決まって卒業間際の1月に指導教員に技術サロンを紹介されて初めて女性技術士に出会いました。

女性の社会進出が困難だった時代に技術士になり、今も現役で活躍されている女性技術士の先輩方のお話、就職を目前にした当時の私は非常に感動しました。そして漠然と技術者として働きたいと思っていただけの私の中で「技術士の資格ってとるのが大変そう…」から「私も技術士にならねば！」に変わったのでした。その後、サロンで知り合った先輩に指導技術士になって頂いて技術士補となり、今も毎回技術サロンに参加させて頂いています。

現在も技術サロンには参加させて頂いていますが、少しずつ仕事の経験を積むごとに先輩方のお話が身にしみるようになってきました。仕事が辛くても「技術士になってサロンの先輩みたいになりたい！」という目標があればこそ、入社時のモチベーションを持ち続けられています。次回の技術サロンも楽しみにしています！

ニュースレターについてのご意見・ご感想はこちらまで：info@pej-lady.org

2011年第3号 通巻第8号 発行責任者：特定非営利活動法人 女性技術士の会 理事長 岩熊まき